

直轄駐車場の管理運営を長期間にわたり、民間事業者へ委ねることから、事業者選定段階においては、提案した民間事業者が財務的な安定性を有しているか否か、提出される事業計画が合理的に策定されているか否か、などを確認する必要があるのではないか。

【事業者選定時に確認するポイント(案)】

事業者選定段階において、以下の確認するポイントを設けるなどにより、財務データや事業計画の合理性等について確認、評価する。

●民間事業者が管理運営し得る財務的な安定性を有しているか否か (過去の状況の確認)

【確認内容の例】

- ・ 3期連続の財政状態
- ・ 3期連続の損益状況
- ・ 3期連続のキャッシュ・フローの状況
- ・ 企業グループ形成の場合、各社の3期連続の財政状態、損益状況、キャッシュ・フローの状況

●事業計画が合理的に作成されているか否か(将来の状況の確認)

【確認内容の例】

- ・ 運営体制、維持管理計画等との整合性など、計画自体が論理的で不整合が生じていないこと
- ・ 各場の収容能力を超えた収入見込みの有無など、事業計画上の前提条件が異常なものではなく、合理的であること
- ・ 資金調達が合理的になされ得るものであること

●事業計画と財務データが整合しているか否か(将来の状況と過去の状況の整合性の確認)

【確認内容の例】

- ・ 提案した事業者の事業規模、従業員数等で事業を実施が可能か